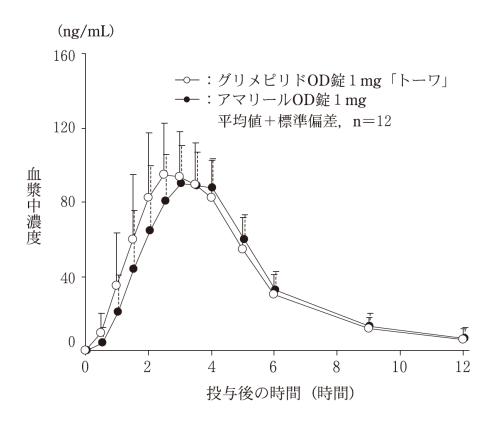
## グリメピリド OD 錠 1mg「トーワ」の生物学的同等性に関する資料

グリメピリド OD 錠 1 mg「トーワ」とアマリール OD 錠 1 mg を、クロスオーバー法によりそれぞれ 1 錠(グリメピリドとして 1 mg)健康成人男子に絶食単回経口投与(水なしで服用及び水で服用)して血漿中未変化体濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ(AUC、 $C_{max}$ )について 90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、 $\log(0.80) \sim \log(1.25)$ の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。 $^{1)}$ 

## (1) 水なしで服用



薬物動態パラメータ

	判定パラメータ		参考パラメータ	
	$\begin{array}{c} AUC_{0\text{-}12} \\ (\text{ng} \cdot \text{hr/mL}) \end{array}$	$\begin{array}{c} C_{max} \\ (ng/mL) \end{array}$	t <sub>max</sub> (h)	t <sub>1/2</sub> (h)
グリメピリド OD錠1mg「トーワ」	454. $1 \pm 100$ . 1	103. $9 \pm 20$ . 8	$2.92\pm0.95$	$2.47 \pm 0.98$
アマリールOD錠1mg	$436.2 \pm 96.0$	97. $6 \pm 19.3$	$3.29\pm0.72$	$2.51\pm0.87$

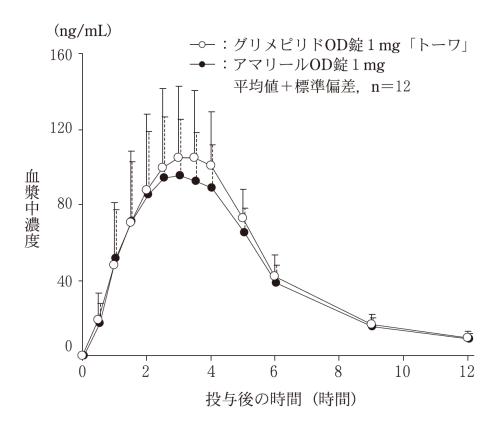
(平均值±標準偏差, n=12)

血漿中濃度並びに AUC、C<sub>max</sub> 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

両製剤の判定パラメータの対数変換値の平均値の差及び90%信頼区間

パラメータ	$\mathrm{AUC}_{0\text{-}12}$	$C_{ ext{max}}$	
平均値の差	$\log(1.0425)$	$\log(1.0658)$	
平均値の差の 90%信頼区間	$\log(0.9864) \sim \log(1.1017)$	$\log(0.9818) \sim \log(1.1569)$	

## (2) 水で服用



薬物動態パラメータ

	判定パラメータ		参考パラメータ	
	$\begin{array}{c} AUC_{0\text{-}12} \\ (ng \cdot hr/mL) \end{array}$	$\begin{array}{c} C_{max} \\ (ng/mL) \end{array}$	t <sub>max</sub> (h)	t <sub>1/2</sub> (h)
グリメピリド OD錠1mg「トーワ」	$563.\ 0\pm138.\ 7$	120. $6 \pm 23$ . $3$	$3.21\pm0.94$	$2.64\pm0.37$
アマリールOD錠1mg	$521.4 \pm 99.4$	108. $2\pm20$ . 3	$3.13\pm1.09$	$2.79\pm0.31$

(平均值±標準偏差, n=12)

血漿中濃度並びにAUC、 $C_{max}$ 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

両製剤の判定パラメータの対数変換値の平均値の差及び90%信頼区間

パラメータ	$\mathrm{AUC}_{0\text{-}12}$	$\mathrm{C}_{max}$
平均値の差	$\log(1.0674)$	$\log(1.1142)$
平均値の差の 90%信頼区間	$\log(0.9897) \sim \log(1.1513)$	$\log(1.0247) \sim \log(1.2114)$

1)坂本 慶ほか: 新薬と臨牀. 2014;63(3):444-465